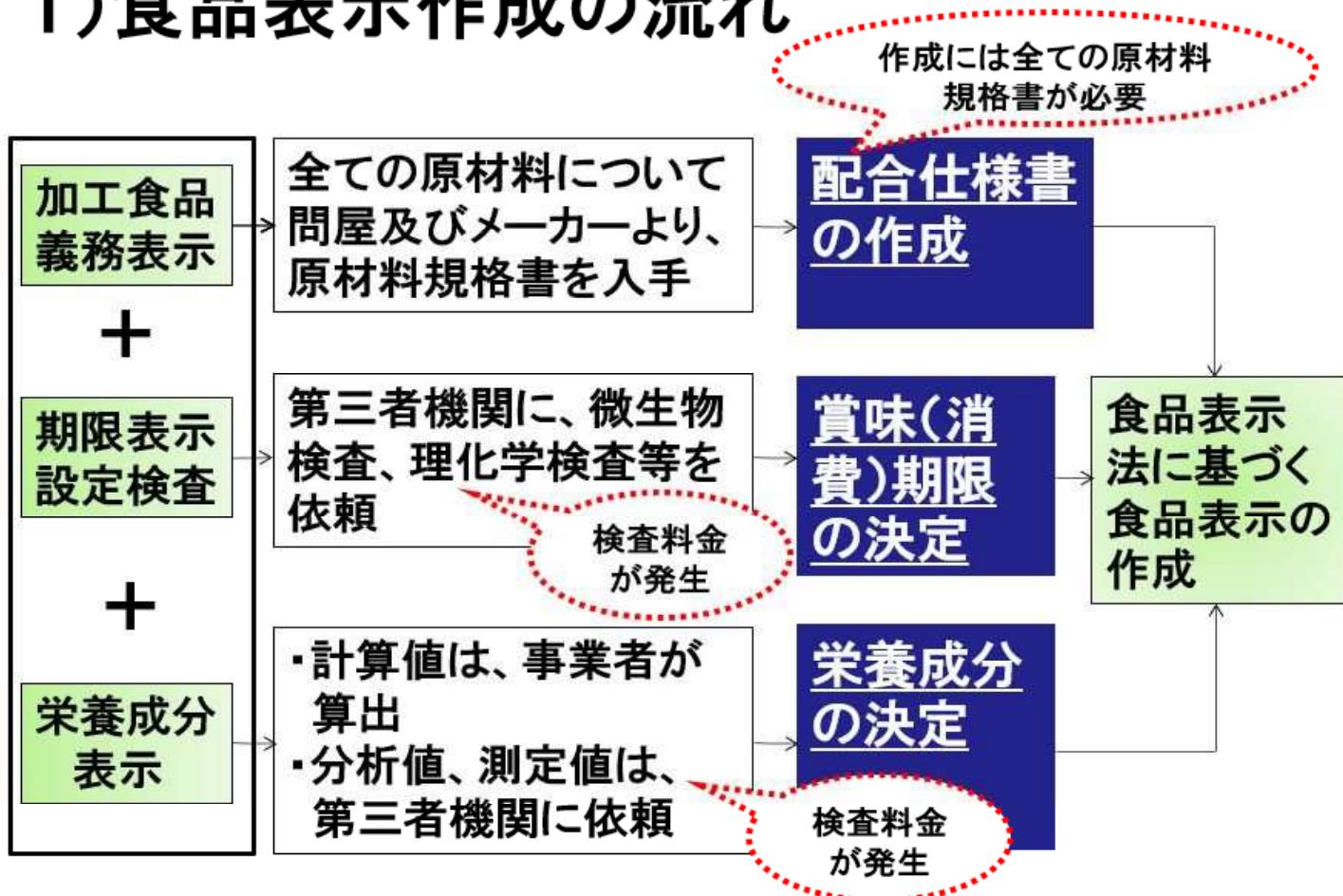


2. 食品表示の作成

1) 食品表示作成の流れ



2) 原材料規格書とは

- ◆ 食品加工メーカーが発行する原材料に含まれる素材の配合割合、産地、遺伝子組み換え作物の有無、食品添加物、アレルギー物質などの「規格」を証明する書類
- ◆ 原材料、アレルゲン、添加物、遺伝子組換え原料原産地等を適正に表示するための根拠となる書類

製造に使用した全ての第一次原材料(レシピ)の原材料規格書を問屋及びメーカーより入手する

品質規格書

| | | |
|-------------------------------------|---|-----------------------------------|
| 製品名 | 上白糖 FNSS 20kg | 作成日: [REDACTED] |
| 製造会社名 | [REDACTED] | 一般名 砂糖(上白糖) 規格 20kg |
| 製造工場名 | [REDACTED] | |
| 性状・用途 | 白色(無色)の微結晶品でしつとりしている甘味料 | |
| 商品重量 | 20.3kg 内容量 20.0kg | |
| 包装形態 | 外装 クラフト紙・ポリエチレンフィルム・クラフト紙3層構造袋 内袋 内外袋一体型のため無し | サイズ: 710 × 415 × 55 (mm) |
| ロット表示 | 裏面下部に印字(製造年月日) 例: 070401AW ⇒ 2007年4月1日製造 A(包装系列)W(包装時間) | サイズ: × × (mm) |
| 取扱い・保管注意事項 | 庫内常温にて保管し、温・温差が大きい場所や臭気が強い物品との併置は避けて下さい。 開封時に異物等が混入しないようにご注意下さい。開封後は早めにご使用下さい。 | |
| 賞味・消費期限 | 砂糖は長期保管が可能な食品のため、賞味・消費期限等はございません。 | |
| 加工助剤の有無 | 無 | |
| 食品への表示 | 砂糖(上白糖) | |
| 原材料名 | 一次原材料として原糖(さとうきび)[タイ、オーストラリア、南アフリカ、日本産]と原料糖(てん菜)[北海道産]を使用しております。 | |
| 食品添加物 | 食品添加物(水酸化カルシウム、ケイソウ土、バーライト、骨炭、イオン交換樹脂、塩酸、苛性ソーダ)を使用しておりますが、最終製品より検出されない加工助剤となっております。(表示免除) | |
| GMO情報 | 原材料に遺伝子組換え体は一切使用しておりません。 | |
| アルギー情報 | 使用原材料、製造工程にはアルギー物質は一切含まれおりません。 | |
| BSE情報 | 骨炭(加工助剤)は牛由来原料ですがBSEに関する危険性はありません。 | |
| 残留農薬 | 食品衛生法に準拠しております。 | |
| 製造工程 | | *テストピース感度 Fe: φ2.0mm, SUS: φ2.5mm |
| 規格項目 | 規格 | 試験方法 |
| 糖度 | 97.0 以上 | 換算計法による |
| 還元糖 | 1.2 ~ 1.6% | メチレンブルー法による |
| 水分 | 0.4 ~ 0.8% | 減圧乾燥法による |
| 色価(A1) | 20 以下 | 吸光度法による |
| 反分 | 0.03% 以下 | 電気伝導度法による |
| 衛生規格 | | |
| 一般生菌数 | 300 以下/g | 標準寒天平板培地法(ごよる) |
| 耐熱性菌数 | 300 以下/g | 標準寒天平板培地法による(沸騰水中10分間) |
| 大腸菌群 | | BGLB法による |
| カビ・酵母 | 10 以下/g | ホテトデキストロース寒天平板培地法による |
| 砒素(As ₂ O ₃) | 検出せず | 原子吸光度法による(検出限界 0.1ppm) |
| 重金属(Pb) | 検出せず | 原子吸光度法による(検出限界 0.25ppm) |
| 備考 | [REDACTED] | |

一次原材料名

原材料名欄に表示する名称

二次原材料

一次原材料を構成する原材料と原料产地

食品添加物

原材料に含まれている食品添加物

※加工助剤のため表示免除であることを記載

遺伝子組換え

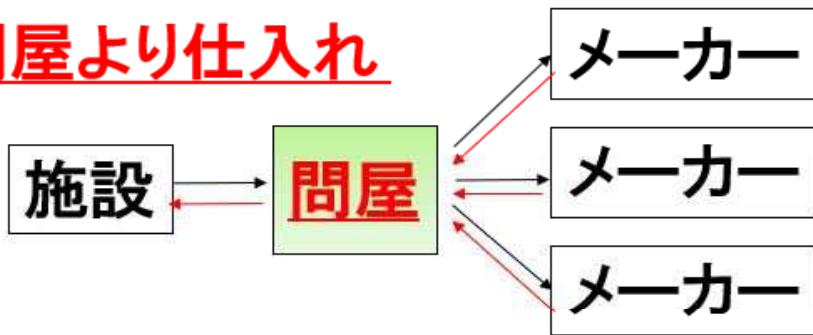
原材料の遺伝子組換えの情報

アレルゲン

原材料に含まれるアレルゲン

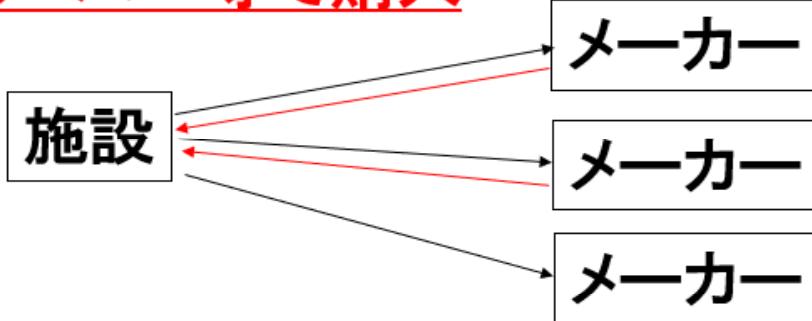
3) 原材料規格書の入手方法

問屋より仕入れ



◆問屋経由で全てのメーカーの規格書が入手できる

スーパー等で購入



◆全てのメーカーに施設より連絡を入れて規格書を入手する必要がある

◆依頼しても提出を拒否するメーカーもある

4)原材料規格書の留意点

【原材料規格書】は、統一した書式がないことから記載内容は、原材料メーカーが決定する。そのため、表示の作成に必要な情報が記載されていない【原材料規格書】も見受けられる。

◆入手した【原材料規格書】に、必要な情報が記載されていない場合は、問屋やメーカーと交渉し、出来得る限りの情報を入手する。

⇒配合比が社外秘の場合、重量割合の順番だけでも提供してもらう。

◆情報が入手できないメーカーについては、入手可能なメーカーへの原材料変更も考える。

5)原材料規格書の情報管理

◆入手した原材料規格書は情報管理を実施する
◆原材料規格書の内容に変更があった場合、必ず、差し替えを実施し、最新の情報を管理する

◆原材料規格書の変更については、必ず、配合仕様書の変更を実施する

◆書類は責任者を決めて、一元管理することで、情報の更新ミス、情報の漏洩などを未然に防止する。

◆問屋又はメーカーより、自主回収の連絡が入った場合は、原材料の確認と対応を実施する

6)配合仕様書とは

配合仕様書は、原材料や品質情報等の表示作成に役立つ情報を分類整理して記載しているため、
表示の作成を行う際に、欠かすことのできない帳票と位置付けられている。

- ◆ 正確な配合仕様書を作成するためには、事前に原材料についての十分な情報の収集が必要となる。
- ◆ 原材料についての情報収集方法として、メーカーからの原材料規格書の入手が挙げられる。

7)配合仕様書の情報管理

商品発売後は、必ず仕様書の情報管理を実施する。表示漏れや表示間違いは、商品仕様書の情報管理ミスによるものが多い。

- ◆ 原材料の変更、商品仕様の変更については、必ず、仕様書及び関連帳票類の変更等を実施する。
- ◆ 関連法規の改正や時事問題の発生時には、記載内容の変更等の必要を確認する。
- ◆ 商品事故・製品不良発生時には、記載内容を確認し、苦情処理から未然防止までの取組みに活用する。
- ◆ 書類は責任者を決めて、一元管理することで、情報の更新ミス、情報の漏洩などを未然に防止する。

配合仕様書

商品コード:

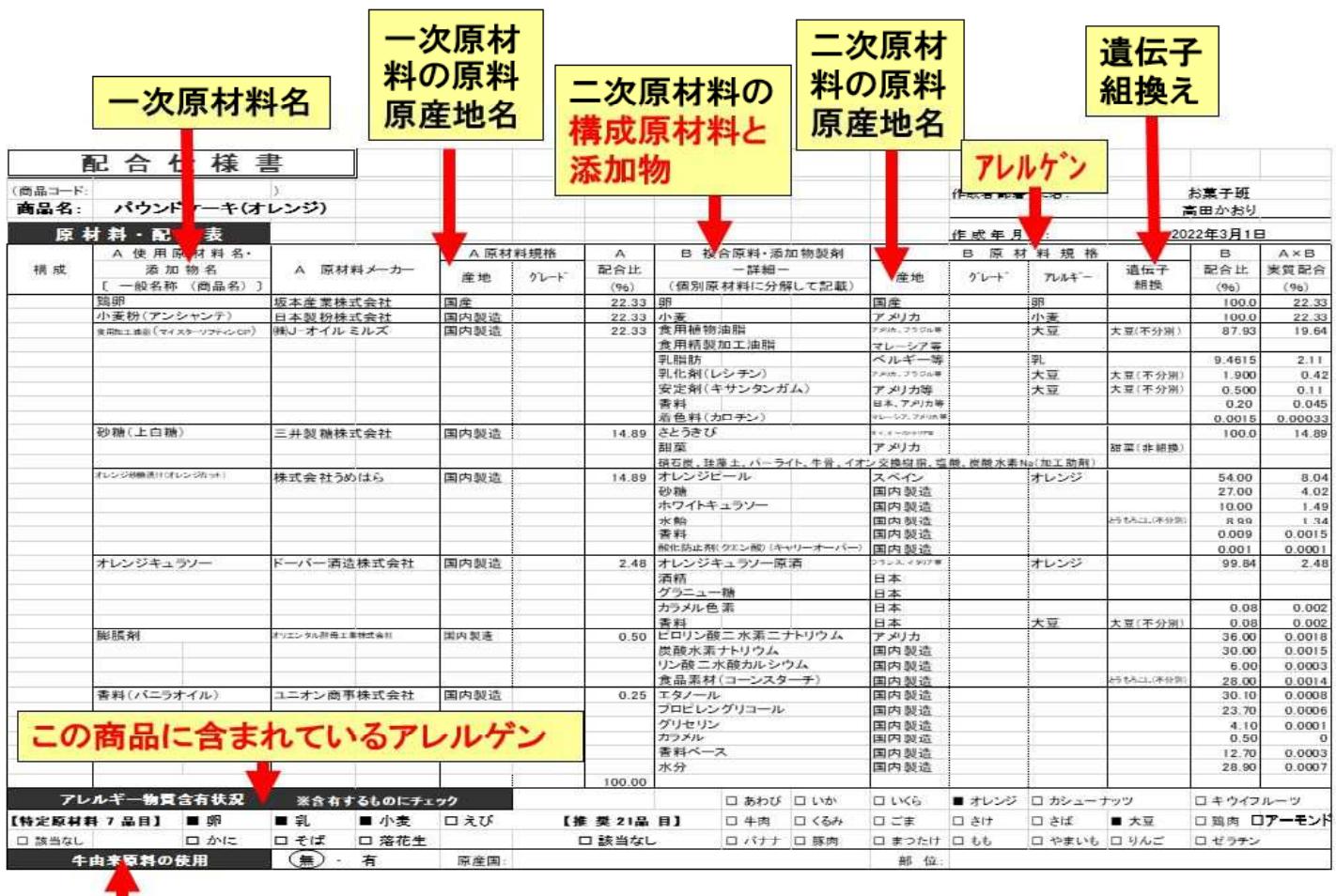
商品名：

作成者部署・氏名：

配合仕様書の書式例

配合仕様書の具体的な作成方法は セミナー(実習)にて習得する

| アレルギー物質含有状況 | | | | | | | | | |
|---|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|--|-----------------------------|--------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| ※含有するものにチェック | | | | | | | | | |
| 【特定原材料 7品目】 | | | | 【推奨 21品目】 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 卵 | <input type="checkbox"/> 乳 | <input type="checkbox"/> 小麦 | <input type="checkbox"/> えび | <input type="checkbox"/> 牛肉 | <input type="checkbox"/> ローストビーフ | <input type="checkbox"/> ごま | <input type="checkbox"/> ソーセージ | <input type="checkbox"/> カシュー・ナッシュ | <input type="checkbox"/> キウイフルーツ |
| <input type="checkbox"/> 該当なし | <input type="checkbox"/> かに | <input type="checkbox"/> そば | <input type="checkbox"/> 落花生 | <input type="checkbox"/> 該当なし | <input type="checkbox"/> パナナ | <input type="checkbox"/> 豚肉 | <input type="checkbox"/> まつたけ | <input type="checkbox"/> もも | <input type="checkbox"/> やまいも |
| 牛由来原料の使用 | | 無 | ・ | 有 | 原産国: | | | | |
| 部 位: | | | | | | | | | |
| (1) 構成: 2品以上で構成されている商品は、分割して記入。 | | | | | (4) アレルギー: アレルギー物質肥認のため、キャリーオーバーを含む原材料の明細記入。 | | | | |
| (2) 仕様: 加工時に水を使用する商品は水を含めた配合比。 | | | | | (5) 指定子母機: 主原料に該当する目次は食品使用小場合は原材料名・区分別品。不分別品。不明を明確に記入。 | | | | |
| (3) 原材料規格: 混合原料は株内に使用目的を明記。使用原材料の内訳を記載。 | | | | | (6) 配合記載方法: 配合比目次、「(使用原材料名・添加物名)中に占める混合原料・添加物割合(括弧内)」配合%とする。 | | | | |



牛由来原料